



東村山市子ども読書活動推進計画

第2次（平成22年度～26年度）

進捗状況報告 10 『きょういく東村山』より

第2次計画のまとめ



第2次計画をふりかえって

市では、平成22年3月に策定した「第2次東村山市子ども読書活動推進計画」に基づき、平成22年度から26年度までの5年間、様々な取組を実施してきました。

この計画は子どもに読書の楽しさを伝え、よりよく生きていく力を育てることを目的としています。図書館を中心に、関連部署や保育園、児童館、学校などの施設との連携体制により、子どもが本に出会うための環境を整える取組を市内全体で進めています。

また、市立図書館「子どもと本の人材バンク」登録の「乳幼児への読み聞かせボランティア」をはじめ、図書館関連団体、小学校で読み聞かせや学校図書館整備をしている保護者の方など、子どもの読書にかかわる市民の皆さんの支援の輪が定着し、広がってきました。

主な取組と成果

こうした活動を支える事業として、「東村山子ども読書連絡会」や、ボランティアのための「子どもと本を知る講座」を実施しました。どちらも、情報交換や研修の場として、新たな読書活動を生み出す原動力となっています。

市立小・中学校での成果としては、平成23年度後期から、全校に「学校図書館専任司書」が配置されたことがあげられます。教員と学校司書、市立図書館との連携により学校図書館が活性化し、本に親しむ児童・生徒が増えてきました。

乳幼児への取組は、健診会場での読み聞かせや、「赤ちゃん絵本ひろば」でのおはなし会、「子育てひろば」「おひさま広場」への「おすすめ絵本パック」

の設置など、乳幼児親子が訪れる場所へ、たくさんの絵本を届ける取組を進めてきました。

読書活動や図書館利用がしにくい子どもへの取組としては、「障がいのあるお子さんのための布の絵本プレイルーム」を実施しました。

第3次計画に向けて

まだ課題は残っていますが、引き続き「第3次子ども読書活動推進計画」（平成27年度～32年度）の中で取り組んでいきます。

第3次計画は、関連施設や市民の皆さんのご意見をもとに、来年3月に策定する予定です。

今後とも子どもに読書の喜びを伝えるため、ご協力くださいますようお願いいたします。

『きょういく東村山』第71号より

平成26年12月15日号

編集・発行 東村山市教育委員会